## システム修復ディスクの作成

パソコンが起動途中で止まるようになった、起動しない、ウィルスにやられた、HDDが壊れ たから取り替えるなどの「いざというとき」に必要となるものに「リカバリーディスク」「バッ クアップ」「システム修復ディスク」があります。

リカバリーディスクはパソコンを工場出荷状態に戻すもので、現在はメーカーは添付してく れませんから個人で作成する必要があります。 また、パソコンによって作成手順が違うので取 扱い説明書を良く読んで行って下さい。尚、工場出荷状態になるのですから個人が作成したデー タは全て無くなります。

バックアップは個人データをパソコン以外の場所に保存して、パソコンの異常時に備えてお くものです。容量的には外付け HDD が最も好ましく、少ないデータ量であれば DVD や BD で も良いでしょう。

バックアップにはデータをそのままの形で保存する方法と、パソコン全体を丸ごとイメージフ ァイルとして保存する方法があります。丸ごと保存であれば個人データからインストールソフト から全て一括して元に戻せるので大変に便利です。ただし、イメージファイルとなっていること から中身を見ることが出来ない欠点があるので、一部のデータは生データとして別途保存する併 用方式をとる人もいます。

システム修復ディスクはシステムが起動出来なくなった時に上記イメージファイルからの復元のための起動に、システム修復ディスクから起動してシステム回復オプションから各種の修復を行う場合に使用します。 対象となるのは Windows7,8,8.1 で、Vista はパソコンもしくはOSに同梱されているインストールディスクもしくはセットアップディスクにその機能があります。

## <Windows7の場合>

システム修復ディスクは、書き込み型の CD/DVD メディアのみに作成できる。USB フ ラッシュメモリなどに直接作成することはできないので、CD/DVD-R ドライブが接続され ていないノート PC などの場合は、外付け型のドライブを必要とする。

①「スタート」→「すべてのプログラム」→「メンテナンス」

②システム復元ディスクの作成



③「ドライブ」欄に表示されているドライブに空のメディアを挿入し、「ディスクの作成」 ボタンをクリック



## ④システム修復ディスクの作成が始まる

📗 システム修復ディスクの作成	
CD/DVD ドライブを選択し、空のディ システム修復ディスクを使用してコン クに含まれている Windows システム Windows を回復させたり、システム ます。	(スクをドライブに挿入してください ビューターをブートできます。システム修復ディス 回復ツールを使用すると、重大なエラーから イメージからコンピューターを復元することができ
ドライブ( <u>D</u> ):	/ ドライブ (E:)
ディスクの作成中	
	ディスクの作成( <u>R</u> ) キャンセル

⑤下図のような画面が表示されるので、「閉じる」ボタンをクリック

システム修復ディスクの作成	
システム修復ディスクを使用	
システム修復ディスクを使用すると、重大なエラーからコンピ ユーターを回復するために役立つシステム回復オプションを利 用できます。	
ディスクのラベルに次の情報を記載してください:	
修復ディスク Windows 7 32 ビット	
今後、このメッセージを表示しない     閉じる(C)	

⑥「閉じる」ボタンをクリックし、「システム修復ディスクの作成」画面を閉じる





⑤ [システム修復ディスクの作成] をクリック



⑥CD / DVD メディアをドライブに挿入し、[ディスクの作成(R)] ボタンをクリック

8	システム修復ディスクの作成 - 🗆 🗙
CD/DVD ドライブを選 システム修復ディスクを Windows システム回 ージからコンピューターる	は択し、空のディスクをドライブに挿入してください 使用してコンピューターをブートできます。システム修復ディスクに含まれている 復ツールを使用すると、重大なエラーから Windows を回復させたり、システム イメ と復元することができます。
ドライブ(D):	🔮 DVD RW ドライブ (D:) 🗸
	ディスクの作成(R) キャンセル

⑦システム修復ディスクの作成が開始される

😸 システム修復ディスクの作成 - 🗆 🗙			
CD/DVD ドライブを選掛 システム修復ディスクを彼 Windows システム回復 ージからコンピューターを犯	Rし、空のディスクをドライブに挿入してください )用してコンピューターをブートできます。システム修復ディ, !ツールを使用すると、重大なエラーから Windows を回 見元することができます。	スクに含まれている )頃させたり、 システム イメ	
ドライブ(D):	🔮 DVD RW ドライブ (D:)	<b>v</b>	
ディスクの進備中			
	ディスクの作成(R)	キャンセル	

⑧[システム修復ディスクを使用] 画面が表示される。[閉じる(C)] ボタンをクリック。

システム修復ディスクの作成	
システム修復ディスクを使用	
システム修復ディスクを使用すると、重大なエラーからコンピューターを回 復するために役立つシステム回復オプションを利用できます。	
ディスクのラベルルに次の情報を記載してください:	
修復ディスク Windows 8 64 ビット	
□ 今後、このメッセージを表示しない 閉じる(C)	

⑨[システム修復ディスクの作成] 画面に戻りまる。[OK] ボタンをクリック。

6	システム修復ディスクの作成	- 🗆 🗙	
CD/DVD ドライブを選択し、空のディスクをドライブに挿入してください			
システム修復ディスクを使用してコンピューターをブートできます。システム修復ディスクに含まれている Windows システム回復ツールを使用すると、重大なエラーから Windows を回復させたり、システム イメ ージからコンピューターを復元することができます。			
ドライブ(D):	🔮 DVD RW ドライブ (D:)	×	
システム修復ディスク	が完成しました		
	ディスクの作成(R)	ок	

注)Windows8 には「回復ドライブ」を USB メモリに作成する機能がありますので、興味のある人は<u>ここ</u>を参照して下さい。

## <Windows8.1の場合>

Windows8.1 はシステム修復ディスクのメニューがなく、USB メモリに作成する「USB 回 復ドライブ」に変わっている。尚、Windows8.1 のインストールディスクがある場合はそれで システム修復が可能。8 から 8.1 ヘアップグレードした場合は USB 回復ドライブを作成して おく必要がある。





⑥保存先の USB メモリを選択して次へ
 保存先を間違えると大事なデータが削除されていまうのでよく確認してから「次へ」ボタンをクリックする。尚、この USB メモリは他のデータ書き込み厳禁。回復ドライブ専用として保管。

<ul> <li>         ・          ・          ・</li></ul>
USB フラッシュ ドライブの選択
ドライブは 512 MB 以上のデータを格納できる必要があり、ドライブ上のすべてのデータは削除されます。
使用可能なドライブ 

⑦下記確認メッセージが出る



⑧回復ドライブが作成される(数分で終了する)

回復ドライブを作成中	
 ユーティリティのコピー中	

9完了

🕙 🧰 回復ドライブ	
回復ドライブの準備ができました	

システム修復ディスク・回復ドライブの使用方法は、使用する機会がないかも知れませんからここでは説明しません。それが必要になった時に調べて下さい。